

広島県産材による
魅力的な「木の建築」実現のための手引き

ひろしま木造建築協議会

目次

目的・背景	1
活用方法	2
カテゴリー別まとめ	4
(企画)	
(ネットワーク)	
(木材調達)	
(計画・設計)	
(施工・監理)	
(維持保全)	
工程順チェックリスト	
1. 基本構想・基本計画	7
2. 事前調査	8
3. 基本設計・実施設計	9
4. 工事発注	10
5. 工事	11
6. 引渡し	12
7. 維持管理	13
県産材部材リスト	
構造用製材	14
構造用集成材	16
板材・下地材	18
関連資料リスト	20

目的・背景

近年、住宅用途以外の建築物への木材の利用が広まりつつあります。

地域住民への公的サービスを支える公共施設をはじめとし、たくさんの人々が集う商業施設や病院や福祉施設など、これまで木材が使用されることが比較的少なかった建築物にも木材が使用されることで、施設利用者の空間体験の満足度が増し、それぞれの事業成果拡大にもつながると期待されています。

県内のスギ・ヒノキ人工林は、戦後植林期から半世紀以上を経て、その6割が伐採適期に達しています。新しいニーズとしての非住宅分野での木材利用にも、次の森づくりが約束された身近な森林から、優良な木材が調達可能です。

本手引きは、住宅規模を超える建築物に地域の木材を積極的に利用するために、設計者が検討すべき要点と注意点をチェックリストとしてまとめたものです。構想・計画・設計・施工・維持管理の各段階において配慮すべき要点と、検討すべきタイミングを知る目的でご活用ください。

活用方法

■ カテゴリー別まとめ

設計者が行う作業をカテゴリー別にして、建築工程と対応させた表です。プロセス全体を俯瞰して作業内容を把握することができます。

カテゴリー別まとめ

カテゴリー	チェック	検討すべき要点・注意点	1 基本構想 基本計画	2 事前調査	3 基本設計 実施設計	4 工事発注	5 工事	6 引渡し	7 維持管理
企画	<input type="checkbox"/>	発注者へ木の魅力を伝える情報提供							
		<input type="checkbox"/> 発注者に木造建築の事例や客観的データを示し、木造建築の価値や魅力を紹介							
	<input type="checkbox"/>	木造建築に関する方針を計画書にまとめる							

作業内容のカテゴリー

各段階でチェックすべき項目を記載

最も配慮が必要とされる工程を網掛け

■ 工程順チェックリスト

建築工程順にチェック項目と対応する関係者（発注者・施工者・木材供給者）を示してあります。建築工程順に検討すべき要点・注意点の内容をチェックしながら実際に取り組むことで、効率的な木造プロジェクトの実施が可能となります。

対応する工程を上段に記載

工程順チェックリスト

1.基本構想 基本計画	2.事前調査	3.基本設計 実施設計	4.工事発注	5. 工事	6.引渡し	7.維持管理
----------------	--------	----------------	--------	-------	-------	--------

カテゴリー	チェック	検討すべき要点・注意点	発注者	設計者	施工者	木材供給者
企画	<input type="checkbox"/>	発注者へ木の魅力を伝える情報提供 <input type="checkbox"/> 発注者に木造建築の事例や客観的データを示し、木造建築の価値や魅力を紹介【資料1】	○	●		○
企画	<input type="checkbox"/>	木造建築に関する方針を計画書にまとめる <input type="checkbox"/> 基本計画の検討において、木材の利用や調達の結果目標を明確に示す【資料1-3】> 事業の目的や意義、なぜ木材を優先利用するのか、木材の種類や調達エリアの選定など	○	●		○

作業内容のカテゴリー

各段階でチェックすべき項目を掲載

各段階で対応が必要なる関係者を○で表記

設計者は全ての段階で関わる必要があるため●で表記

■ 県産材部材リスト

木材は自然素材のため、樹種・個体により材料強度など品質にばらつきが大きく、求める品質によりコストも大きな違いがあります。また、地域材の利用を考える場合には木材調達の条件が厳しく、設計に合わせる事が難しい場合もあります。

あらかじめ地域の木材品質に合わせた設計とすることで調達が容易になることから、中大規模の木造建築物の場合、地域の木材状況を把握したうえで設計することが重要になります。

「県産材部材リスト」は、製材、集成材等毎に県内で流通している県産材の供給情報を掲載しており、部材毎の調達難易度（調達期間）がわかりますので、県産材を利用した木造建築物の設計等にご活用ください。

樹種・等級・部材名・断面寸法・長さ毎に調達難易度を色別に表記

調達難易度

	在庫区分	調達期間
易	一般品	★
やや難	特注品	★★
難	特注品	★★★

★ = 1か月

具体には、青色に分類している調達容易な一般流通材を中心に用いること、また、長尺で断面が大きい部材は、集成材を優先的に用いること等で木材の調達が容易になり、建築コストを抑えることができます。

■ 関連資料リスト

木造の魅力、建築コスト、補助制度、維持管理等の 카테고리 毎に関連資料のリンク先等を記載していますので、必要に応じてご活用ください。

カテゴリー別まとめ

カテゴリー	チェック	検討すべき要点・注意点	1	2	3	4	5	6	7
			基本計画 構想	事前調査	実施設計 基本設計	工事発注	工事	引渡し	維持管理
企画	<input type="checkbox"/>	発注者へ木の魅力を伝える情報提供							
		<input type="checkbox"/> 発注者に木造建築の事例や客観的データを示し、木造建築の価値や魅力を紹介							
	<input type="checkbox"/>	木造建築に関する方針を計画書にまとめる							
		<input type="checkbox"/> 基本計画の検討において、木材の利用や調達の結果目標を明確に示す							
	<input type="checkbox"/>	木造建築設計施工にかかる補助制度・支援制度把握							
		<input type="checkbox"/> 国・県・市町の補助制度等に関する情報把握							
ネットワーク	<input type="checkbox"/>	調達木材の情報共有の場づくりを提案							
		<input type="checkbox"/> 地域の木材を確実に調達するため、県産材調達に関する情報収集のための人選とネットワークをつくる							
	<input type="checkbox"/>	設計チーム組織(構造設計・防耐火計画・木材調達)							
	<input type="checkbox"/>	計画・設計施工に必要な関係者の連携を生む検討会							
		<input type="checkbox"/> 発注者が中心となりプロジェクト推進のための検討会(工程会議)を開催							
	<input type="checkbox"/>	施工段階における木材調達・木工事情の共有							
木材調達	<input type="checkbox"/>	木材調達に関する方針の決定							
		<input type="checkbox"/> 木材調達にかかる枠組み(産地)検討と方針決定							
		<input type="checkbox"/> 木材調達の方針検討に必要な専門家からアドバイス							
	<input type="checkbox"/>	調達木材情報の収集と概要把握							
		<input type="checkbox"/> 「県産材部材リスト」を活用し、構造用製材・構造用集成材・板材・下地材の調達難易度を把握							
	<input type="checkbox"/>	設計条件としての木材情報の整理(「県産材部材リスト」の活用)							
	<input type="checkbox"/>	調達可能な木材の性能・品質・サイズ(断面・長さ)の共有							
		<input type="checkbox"/> 「県産材部材リスト」や木材供給者へのヒアリングを通して、調達に無理のない品質やサイズを把握し、設計施工に活用							
		<input type="checkbox"/> 調達が予測される木材の概算金額を把握							
		<input type="checkbox"/> 建築規模(床面積や構造方法、燃えしろ設計の採用等)から木材総量の概算値を把握							
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 調達納期に関する情報収集・先行調達の検討							
	<input type="checkbox"/>	木材調達に必要な設計価格の把握							
		<input type="checkbox"/> 3者見積取得により実勢価格を調査・設計価格根拠作成							
	<input type="checkbox"/>	木材調達と施工の分離発注を検討							
		<input type="checkbox"/> 材料の発注時期を工夫する他、木材調達に配慮した余裕のあるスケジュールを検討							
	<input type="checkbox"/>	木材供給者の選定							
		<input type="checkbox"/> 地域材の供給が可能な事業者情報を把握							
	<input type="checkbox"/>	材料受入検査							
		<input type="checkbox"/> 設計図書において求める性能を満たしているか検査を実施							
	<input type="checkbox"/>	木材調達状況の報告(発注者に説明)							
<input type="checkbox"/> 発注者に対して、木材の調達状況を説明ながら工事を進めることで、地域材利用の意義や、地域貢献など事業成果への理解を高める									
<input type="checkbox"/> 施工実績の共有									

カテゴリー	チェック	検討すべき要点・注意点	1	2	3	4	5	6	7
			基本構想画	事前調査	基本設計	工事発注	工事	引渡し	維持管理
計画・設計	<input type="checkbox"/>	構造様式の特徴把握と比較検討							
		<input type="checkbox"/> 建築物の構造の特徴について把握し、木構造の選択に妥当性があるか否かを検討する							
		<input type="checkbox"/> 構造に木材を使用する場合の選択肢として、他構造+木造の混構造も検討する							
		<input type="checkbox"/> 構造躯体に木材の利用が難しい場合は、内外装の木質化の検討を行う							
	<input type="checkbox"/>	木材利用の要望事項整理							
	<input type="checkbox"/> 内装(床・壁・天井)外装(デッキ等床・外壁・軒天等)や水回りなど、どの範囲に木材を使用するか否か方針を検討								
<input type="checkbox"/>	木材利用範囲の設計図書への反映と発注者への説明								
<input type="checkbox"/>	工事施工者選定に必要な発注要件の設定・方針決定								
施工・監理	<input type="checkbox"/>	発注者への施工者情報の提示(木造建築に施工実績のある工事業者)							
		<input type="checkbox"/> 建築事例の調査・視察・関係者ヒアリング							
	<input type="checkbox"/>	施工者への木材仕様・施工要領の提示							
		<input type="checkbox"/> 設計図書(現場説明書・特記仕様書・木工事仕様書)に明示							
	<input type="checkbox"/>	施工能力のある施工者の選定							
		<input type="checkbox"/> 施工者決定の際に、総合評価方式を導入							
		<input type="checkbox"/> 当該工事の理解度や協力業者との連携による施工体制を検討							
	<input type="checkbox"/>	施工体制との連携(木工事・木材供給)							
		<input type="checkbox"/> 専門性の高い分野はアドバイザーと連携							
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 地域の施工者や木材供給体制との連携模索							
	<input type="checkbox"/>	施工者の理解度の把握							
		<input type="checkbox"/> 施工者へのヒアリング・施工計画書による実施体制の把握							
	<input type="checkbox"/>	木工事施工図(プレカット図)の検討							
	<input type="checkbox"/>	施工性や納まりについて木工事(プレカット・建方)検討							
<input type="checkbox"/> 合理的な工程やコスト管理のために、架構選定や施工計画を施工者と検討									
<input type="checkbox"/>	工事監理報告書の提示								
	<input type="checkbox"/> 法定監理報告書の提示と合わせて木工事の実績を解説								

カテゴリー	チェック	検討すべき要点・注意点	1 基本 構想 計画	2 事 前 調 査	3 基 本 実 施 設 計	4 工 事 発 注	5 工 事	6 引 渡 し	7 維 持 管 理
維持保全	□	木材の扱い方・メンテナンス等に関する注意点把握							
		□ 木材の性能を安定した状態に保つための維持保全計画やメンテナンスの配慮事項を情報収集							
		□ 竣工後の維持保全計画の必要性を共有							
	□	長期維持保全計画の立案							
		□ 木造建築特有の維持保全の計画書を作成							
		□ 定期的な修繕・改修工事費の積立を提案							
	□	内外装材のメンテナンス項目の把握							
		□ 内外装の場所別・仕上別にメンテナンス方法解説							
		□ 発注者による日常的なメンテナンスを促すため、手入れを経験してもらうワークショップを実施							
	□	メンテナンスリスト作成							
		□ 毎年の恒例行事における発注者による点検							
	□	日常的な清掃の実施							
		□ 清掃実施項目の整理							
		□ 清掃実施時に関連する箇所の劣化度を目視把握							
	□	1年定期点検時の劣化診断							
		□ 毎年の恒例行事における発注者による点検							
		□ 発注者でも可能な実施項目の整理							
	□	3年定期点検の劣化診断							
		□ 専門家に依頼							
		□ 法定特殊建築物等定期報告の機会に、専門家に確認を求める「維持保全チェックリスト」を作成							
	□	修繕工事(劣化部の早期対応)							
□ 木製外壁やウッドデッキなど雨かかり部分の塗装									
□ 内部床木部の塗装、定期的なワックスがけ等									
□	改修工事(木材の交換等)								
	□ まとまった工事に必要な改修工事費の積立								
	□ 設計時の不具合の是正								

工程順チェックリスト

1.基本構想 基本計画		2.事前調査	3.基本設計 実施設計	4.工事発注	5.工事	6.引渡し	7.維持管理		
カテゴリー	チェック	検討すべき要点・注意点				発注者	設計者	施工者	木材供給者
企画	<input type="checkbox"/>	発注者へ木の魅力を伝える情報提供 <input type="checkbox"/> 発注者に木造建築の事例や客観的データを示し、木造建築の価値や魅力を紹介【資料1】				○	●		○
企画	<input type="checkbox"/>	木造建築に関する方針を計画書にまとめる <input type="checkbox"/> 基本計画の検討において、木材の利用や調達の結果目標を明確に示す【資料1-3】 > 事業の目的や意義、なぜ木材を優先利用するのか、木材の種類や調達エリアの選定など関係者が情報共有し、できることできないことを明確化して企画する				○	●		○
木材調達	<input type="checkbox"/>	木材調達に関する方針の決定 <input type="checkbox"/> 木材調達にかかる枠組み(産地)検討と方針決定 > 木材の調達エリアを小さく絞るほど、木材量や材料品質、調達スケジュールが限られてくるなどを考慮する <input type="checkbox"/> 木材調達の方針検討に必要な専門家(ひろしま木造建築協議会等)からアドバイス				○	●		○
計画・設計	<input type="checkbox"/>	構造様式の特徴把握と比較検討 <input type="checkbox"/> 建築物の構造(木造・鉄骨造・RC造等)の特徴について把握し、木構造の選択に妥当性があるか否かを検討する【資料4】 <input type="checkbox"/> 構造に木材を使用する場合の選択肢として、他構造+木造の混構造も検討する <input type="checkbox"/> 構造躯体に木材の利用が難しい場合は、内外装の木質化の検討を行う				○	●		○
維持保全	<input type="checkbox"/>	木材の扱い方・メンテナンス等に関する注意点把握 <input type="checkbox"/> 木材の性能を安定した状態に保つための維持保全計画やメンテナンスの配慮事項を情報収集【資料8】 <input type="checkbox"/> 竣工後の維持保全計画の必要性を共有				○	●		○

1.基本構想 基本計画	2.事前調査	3.基本設計 実施設計	4.工事発注	5.工事	6.引渡し	7.維持管理
----------------	--------	----------------	--------	------	-------	--------

カテゴリー	チェック	検討すべき要点・注意点	発注者	設計者	施工者	木材供給者
企画	<input type="checkbox"/>	木造建築の設計施工にかかる補助制度・支援制度把握 □国・県・市町の補助制度等に関する情報把握【資料3】	○	●		
ネットワーク	<input type="checkbox"/>	調達木材の情報共有の場づくりを提案 □地域の木材を確実に調達するため、県産材調達に関する情報収集のための人選とネットワークをつくる【資料2】 □発注者、設計者、木材供給者等が参加する情報共有の場をつくることを提案	○	●		○
ネットワーク	<input type="checkbox"/>	設計チーム組織 (構造設計・防耐火計画【資料5】・木材調達)		●		○
木材調達	<input type="checkbox"/>	調達木材情報の収集と概要把握 □「県産部材リスト」を活用し、構造用製材・構造用集成材・板材・下地材の調達難易度を把握		●		○

1.基本構想 基本計画		2.事前調査		3.基本設計 実施設計		4.工事発注		5.工事		6.引渡し		7.維持管理	
カテゴリー	チェック	検討すべき要点・注意点						発注者	設計者	施工者	木材供給者		
ネットワーク	<input type="checkbox"/>	計画・設計施工に必要な関係者の連携を生む検討会 <input type="checkbox"/> 発注者が中心となりプロジェクト推進のための検討会(工程会議)を開催						○	●		○		
木材調達	<input type="checkbox"/>	設計条件としての木材情報の整理 (「県産材部材リスト」の活用)							●		○		
木材調達	<input type="checkbox"/>	調達可能な木材の性能・品質・サイズ(断面・長さ)の共有 <input type="checkbox"/> 「県産部材リスト」や木材供給者へのヒアリングを通して、調達に無理のない品質やサイズを把握し、設計施工に活用 <input type="checkbox"/> 調達が予測される木材の概算金額を把握 <input type="checkbox"/> 建築規模(床面積や構造方法、燃えしろ設計の採用等)から木材総量の概算値を把握 <input type="checkbox"/> 調達納期に関する情報収集・先行調達の検討 > 建築工期や調達量によっては工事に先立ち木材の先行調達も選択肢とする							●		○		
木材調達	<input type="checkbox"/>	木材調達に必要な設計価格の把握 <input type="checkbox"/> 3者見積取得により実勢価格を調査・設計価格根拠作成							●		○		
計画・設計	<input type="checkbox"/>	木材利用の要望事項整理 <input type="checkbox"/> 内装(床・壁・天井)外装(デッキ等床・外壁・軒天等)や水回りなど、どの範囲に木材を使用するか否か方針を検討【資料8】						○	●				
計画・設計	<input type="checkbox"/>	木材利用範囲の設計図書への反映と発注者への説明						○	●				
計画・設計	<input type="checkbox"/>	工事施工者選定に必要な発注要件の設定・方針決定						○	●				

1.基本構想 基本計画	2.事前調査	3.基本設計 実施設計	4.工事発注	5.工事	6.引渡し	7.維持管理
----------------	--------	----------------	--------	------	-------	--------

カテゴリー	チェック	検討すべき要点・注意点	発注者	設計者	施工者	木材供給者
木材調達	<input type="checkbox"/>	木材調達と施工の分離発注を検討 <input type="checkbox"/> 材料の発注時期を工夫する他、木材調達に配慮した余裕のあるスケジュールを検討(材工分離発注等)【資料6】	○	●		○
木材調達	<input type="checkbox"/>	木材供給者の選定 <input type="checkbox"/> 地域材の供給が可能な事業者情報を把握		●	○	○
施工・監理	<input type="checkbox"/>	発注者への施工者情報の提示 (木造建築に施工実績のある工事業者) <input type="checkbox"/> 建築事例の調査・視察・関係者ヒアリング【資料1-1】	○	●		
施工・監理	<input type="checkbox"/>	施工者への木材仕様・施工要領の提示 <input type="checkbox"/> 設計図書(現場説明書・特記仕様書・木工事仕様書)に明示		●	○	
施工・監理	<input type="checkbox"/>	施工能力のある施工者の選定【資料7】 <input type="checkbox"/> 施工者決定の際に、総合評価方式を導入 > 落札価格の多寡にプラスして、木造の施工経験や地域施工者の採用条件など独自の評価基準を設定 <input type="checkbox"/> 当該工事の理解度や協力業者との連携による施工体制を検討 > 計画の難易度によっては地域外の施工者(大手ゼネコン)との共同企業体とするなどの対応を検討		●	○	

1.基本構想 基本計画	2.事前調査	3.基本設計 実施設計	4.工事発注	5.工事	6.引渡し	7.維持管理
----------------	--------	----------------	--------	------	-------	--------

カテゴリー	チェック	検討すべき要点・注意点	発注者	設計者	施工者	木材供給者
ネットワーク	<input type="checkbox"/>	施工段階における木材調達・木工事情報の共有		●	○	○
木材調達	<input type="checkbox"/>	材料受入検査 □設計図書において求める性能を満たしているか検査を実施 ➢ JAS規格、強度、含水率等の確認		●	○	○
木材調達	<input type="checkbox"/>	木材調達状況の報告(発注者に説明) □発注者に対して、木材の調達状況を説明しながら工事を進めることで、地域材利用の意義や、地域貢献など事業成果への理解を高める □施工実績の共有 ➢ 木材使用量・地域の生産体制の関与状況	○	●	○	○
施工・監理	<input type="checkbox"/>	施工体制との連携(木工事・木材供給) □専門性の高い分野はアドバイザー(ひろしま木造建築協議会等)と連携 □地域の施工者や木材供給体制との連携模索		●	○	○
施工・監理	<input type="checkbox"/>	施工者の理解度の把握 □施工者へのヒアリング・施工計画書による実施体制の把握		●	○	○
施工・監理	<input type="checkbox"/>	木工事施工図(プレカット図)の検討		●	○	○
施工・監理	<input type="checkbox"/>	施工性や納まりについて木工事(プレカット・建方)検討 □合理的な工程やコスト管理のために、架構選定や施工計画を施工者と検討		●	○	○

1.基本構想 基本計画	2.事前調査	3.基本設計 実施設計	4.工事発注	5.工事	6.引渡し	7.維持管理
----------------	--------	----------------	--------	------	-------	--------

カテゴリー	チェック	検討すべき要点・注意点	発注者	設計者	施工者	木材供給者
施工・監理	<input type="checkbox"/>	工事監理報告書の提示 <input type="checkbox"/> 法定監理報告書の提示と合わせて木工事の実績を解説	○	●	○	
維持保全	<input type="checkbox"/>	長期維持保全計画の立案【資料8】 <input type="checkbox"/> 木造建築特有の維持保全の計画書を作成 <input type="checkbox"/> 定期的な修繕・改修工事費の積立を提案 <input type="checkbox"/> メンテナンスコストの試算	○	●	○	
維持保全	<input type="checkbox"/>	内外装材のメンテナンス項目の把握 <input type="checkbox"/> 内外装の場所別・仕上別にメンテナンス方法解説 <input type="checkbox"/> 発注者による日常的なメンテナンスを促すため、手入れを経験してもらうワークショップを実施	○	●	○	
維持保全	<input type="checkbox"/>	メンテナンスリスト作成 <input type="checkbox"/> 毎年の恒例行事における発注者による点検 > 発注者でも行える目視等で評価する簡易な項目を設定。問題があれば専門家に調査を依頼	○	●	○	

1.基本構想 基本計画	2.事前調査	3.基本設計 実施設計	4.工事発注	5.工事	6.引渡し	7.維持管理
----------------	--------	----------------	--------	------	-------	--------

カテゴリー	チェック	検討すべき要点・注意点	発注者	設計者	施工者	木材供給者
維持保全	<input type="checkbox"/>	日常的な清掃の実施 <input type="checkbox"/> 清掃実施項目の整理 <input type="checkbox"/> 清掃実施時に関連する箇所の劣化度を目視把握	○	●		
維持保全	<input type="checkbox"/>	1年定期点検時の劣化診断 <input type="checkbox"/> 毎年の恒例行事における発注者による点検 > 年末の大掃除・防災訓練時など <input type="checkbox"/> 発注者でも可能な実施項目の整理 > 担当者を決めて、毎年の実施により経年変化を比較	○	●	○	
維持保全	<input type="checkbox"/>	3年定期点検の劣化診断 <input type="checkbox"/> 専門家に依頼 → 屋根や床下などの状況を把握 <input type="checkbox"/> 法定特殊建築物等定期報告の機会に、専門家に確認を求める「維持保全チェックリスト」を作成	○	●	○	
維持保全	<input type="checkbox"/>	修繕工事(劣化部の早期対応) <input type="checkbox"/> 木製外壁やウッドデッキなど雨かかり部分の塗装 <input type="checkbox"/> 内部床木部の塗装、定期的なワックスがけ等	○	●	○	
維持保全	<input type="checkbox"/>	改修工事(木材の交換等) <input type="checkbox"/> まとまった工事に必要な改修工事費の積立 <input type="checkbox"/> 設計時の不具合の是正 > 不具合の原因を把握し根治	○	●	○	○

県産材部材リスト【構造用製材】

【特記事項】

- ① 構造用製材JAS目視等級区分 → JAS目視等級区分認定工場からの供給が可能です。ただし、調達期間および
 ② グレーディングマシンによるヤング係数（JAS機械等級区分）および含水率計測 → 測定機に対応した寸法の範囲

大分類	小分類	樹種	等級	部材名	幅mm	高mm	長 m				
構造材	製材	ヒノキ	特一	柱	150×150		7				
							6				
									4.3		
					120×120 105×105		7				
							6				
									4.3		
				土台	150×150				6		
									4.3		
				120×120 105×105				6			
								4.3			
				大引	90×90						4.3
				梁桁	150		300~150		7		
6											
120・105		300~120・105			7						
					6						
			4.3								
			4.3								
構造材	製材	スギ	特一	柱	150×150		7				
							6				
									4.3		
					120×120 105×105		7				
							6				
									4.3		
				大引	90×90						4.3
				梁桁	150		390~150		7		
									6		
											4.3
					120・105		390~270		7		
									6		
		4.3									
240~120・105		7									
		6									
			4.3								

調達難易度 易 一般品 ★ 通常の在庫品です。
 やや難 特注品 ★★ 注文を受けて丸太調達からの製材・乾燥・仕上げになるので、期間がかかります。
 難 特注品 ★★★ 山林からの丸太調達になるので、長い期間がかかります。

★ = 1か月

※調達難易度と価格は比例する傾向があります。

必要とする等級の供給可能数量については事前の情報収集が必要です。

内で計測が可能です。検査費用ならびに対応可能数量については事前の情報収集が必要です。

在庫区分	調達期間 ★ = 1か月	目視等級 区分JAS	機械等級 区分JAS	含水率	その他 特記事項
特注品	★★★	○	要確認	20%以下	
一般品	★	○	○		
	★	○	○		
特注品	★★★	○	要確認		
一般品	★	○	○		
	★	○	○		
一般品	★	○	○		
	★	○	○		
一般品	★	○	○		
	★	○	○		
特注品	★★★	○	要確認		
特注品	★★	○	○		
	★★	○	○		
特注品	★★★	○	要確認		
特注品	★★	○	○		
	★★	○	○		
特注品	★★★	○	要確認	20%以下 (※断面の大きいものについては要相談)	
一般品	★	○	○		
	★	○	○		
特注品	★★★	○	要確認		
特注品	★★	○	○		
	★★	○	○		
特注品	★★★	○	要確認		
特注品	★★	○	○		
一般品	★	○	○		
特注品	★★★	○	要確認		
特注品	★★	○	○		
一般品	★	○	○		

県産材部材リスト【構造用集成材】

【特記事項】

等級と供給量について → 性能の高い部材の調達には、優良原木の確保に時間を要する場合があります。必要とする等級

大分類	小分類	樹種	等級	部材名	幅mm	高mm	長 m
構造材	集成材	ヒノキ	同一等級	E95-F315	150×150 135×135		6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
					120×120 105×105		6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
			対称異等級	E95-F270	165～500	～1,200	6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
					135・150	～1,200	6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
					105・120	～1,200	6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
							6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
構造材	集成材	スギ	同一等級	E65-F255	150×150 135×135		6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
					120×120 105×105		6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
			対称異等級	E65-F225	165～500	～1,200	6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
					135・150	～1,200	6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
					105・120	～1,200	6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
							6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
構造材	ハイブリッド集成材	米松 + スギ	対称異等級	E120-F330	105・120	～450	2.98・3.98・4.98・5.98
			特定対称異等級	ME120-F330	165～500	～1,200	6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
					135・150	～1,200	6m超え～13m 2.98・3.98・4.98・5.98
					105・120	～450	6m～12m

調達難易度 易 **一般品 ★** 通常の在庫品です。

やや難 **特注品 ★★** 注文を受けてから集成加工・仕上げになるので時間がかかります。

★ = 1ヶ月

※調達難易度と価格は比例する傾向があります。

等級の供給可能数量は、情報収集が必要です。

在庫区分	調達期間 ★ = 1ヶ月	JAS	含水率	その他 特記事項
特注品	★★	○	15%以下	運搬可能な材長に注意
特注品	★★			運搬可能な材長に注意
一般品	★			運搬可能な材長に注意
特注品	★★			運搬可能な材長に注意
特注品	★★	○	15%以下	運搬可能な材長に注意
特注品	★★			運搬可能な材長に注意
一般品	★			運搬可能な材長に注意
特注品	★★			運搬可能な材長に注意
一般品	★	○	15%以下	運搬可能な材長に注意
特注品	★★			運搬可能な材長に注意
特注品	★★			運搬可能な材長に注意

県産材部材リスト【板材・下地材】

【特記事項】

等級と供給量について → 「無節・上小節」以上の等級は製材品の内5%程度しか取れないため、調達数量が多い

大分類	小分類	樹種	等級	部材名	厚さmm	幅（働き）mm	長 m
板材	製材	ヒノキ	節有	羽目	10	90	2・4
			上小・無節				
			節有	床	15	108	
			上小・無節				
			節有	床（直貼り）	15	90	
			上小節				
		節有	スギ	羽目	9	105	2・4
		上小・無節					
		節有		羽目	9	120	2
		上小・無節					
		節有		床	12	110	2・4
		上小・無節					
		節有	床	15	135	2・4	
		上小・無節					
		節有	床（直貼り）	30	180	4	
		上小・無節					
		節有	床（直貼り）	15	90	0.91	
		上小・無節					
		節有	外装（壁・軒）	10	135・165	2・3・4	
		上小・無節					
		節有		14	130	4	
		上小・無節					
		節有		15	135・165		
		上小・無節					
節有	8~18	170					
上小・無節							
下地材	製材	ヒノキ	-	間柱	30	105・120	3
					45		
		スギ	-	間柱	30	105・120	3
					45		
				垂木	45	45・60・90	3・4
					45	105	3・4・5
				野縁	30	40	3・4
					35	35	
					36	45	
				胴縁	15	45	3
					16	40	
					18	36・45	
		21	45				

調達難易度 易 一般品 ★ 通常の在庫品です。
 易～やや難 一般品 ★～★★ 量が多い場合は期間がかかります。
 ★ = 1ヶ月

場合、優良原木の確保と製材に時間を要する場合があります。

在庫区分	調達期間 ★ = 1ヶ月	加工	含水率	その他 特記事項	
一般品	★	本実目透かし	13%以下	目透かし・プレーナー仕上げ・節理加工・塗装その他の仕様につきましては納期共にご相談ください。 また、圧密フローリング、熱処理木材（耐防腐）、不燃・準不燃木材、集成材等対応可能です。	
	★～★★				
	★				
	★～★★				
	★	本実			
	★～★★				
	★				
	★～★★				
	★	本実目透かし			
	★～★★				
	★				
	★～★★				
	★	本実			
	★～★★				
	★				
	★～★★				
	★	相じゃくり			18%以下
	★～★★				
	★				
	★～★★				
★	ドイツ下見				
★～★★					
★					
★～★★					
一般品	★	-	-	-	
一般品	★	-	-	-	

関連資料リスト

資料1 木造の魅力	1-1 「木造建築広島」(一般社団法人 広島県木材組合連合会) → 県内の木造建築事例を紹介した冊子。 1-2 林野庁HP「科学的データによる木材・木造建築のQ&A」 https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/handbook.html → 木材の健康効果・環境貢献等を科学的データを用いて解説。 1-3 一般社団法人 木を活かす建築推進協議会(木活協)HP「木造化・木質化に向けた課題別 ソリューション事例集・データベース」I-1. 木造・木質化の意義の明確化 http://www.kiwoikasu.or.jp/technology/s01.php?no=126 → 関係者の理解を得るため木材利用の目的・意義を明確にするための手法について解説。
資料2 ネットワーク	・木活協HP「地域材活用の中大規模木造建築物実現の手引き」(P8-及びP17-) http://www.kiwoikasu.or.jp/technology/s01.php?no=259 → 木造化・木質化のための情報共有体制づくりについて解説。
資料3 補助制度	3-1 林野庁HP「公共建築物等の整備に活用可能な補助事業・制度等一覧」 https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/koukyou/ → 林野庁が作成した各省庁の公共建築物等の整備に対する補助事業の一覧。 3-2 広島県HP「県産材消費拡大支援事業の募集について」 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimanomorizukuri/kensanzaikenchikushien.html → 木造建築に県産材を用いる工務店等に対する補助事業。
資料4 建築コスト	4-1 木活協HP「平成28・29年度木造公共建築物誘導経費支援報告書」 http://www.kiwoikasu.or.jp/technology/s01.php?no=373 http://www.kiwoikasu.or.jp/technology/s01.php?no=395 → 実在する木造の保育園、RC造の小学校をそれぞれS造、木造で再設計してコストを比較。 4-2 林野庁HP「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律【主要Q&A集】」(P2-) https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/koukyou/ → 用途規模によりコストを比較。 4-3 富山県HP「みんなの施設を木で造ろう」(手引き 第二章 木造建築 Q&A P17) http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1603/kj00013035.html → 木造と他の構造とのコストを比較。
資料5 防耐火	・木活協HP「ここまでできる木造建築の計画」④ C 防耐火設計(P82-) http://www.kiwoikasu.or.jp/technology/s01.php?no=94f → 木造耐火建築物、燃え代設計等の防耐火設計について解説。

資料6 発注方式	<p>・木活協HP「地域材活用の中大規模木造建築物実現の手引き」(P9-及びP24-) http://www.kiwoikasu.or.jp/technology/s01.php?no=259 → 木材の発注について一括発注方式と分離発注方式を解説。</p>
資料7 施工者選定	<p>・木活協HP「木造化・木質化に向けた課題別 ソリューション事例集・データベース」 Ⅲ-3. 施工者の選定方式の検討 http://www.kiwoikasu.or.jp/technology/s01.php?no=126 → 施工者の選定方式について解説。</p>
資料8 維持管理	<p>8-1 木活協HP「木造化・木質化に向けた課題別 ソリューション事例集・データベース」 Ⅱ-3. 維持管理 http://www.kiwoikasu.or.jp/technology/s01.php?no=126 → 木造における維持管理の考え方等について解説。</p> <p>8-2 文部科学省HP「木の学校づくりーその構想からメンテナンスまで(改訂版)」 第4章 設計 4-6 耐久設計(P117-) 第7章 メンテナンス(P160-) https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/mokuzou/1414326.htm → 耐久性を確保する設計について解説。 → メンテナンスを実施する上での手順や留意点について解説。</p> <p>8-3 国土交通省HP「木造計画・設計基準及び同資料」(P83-) http://www.mlit.go.jp/gobuild/moku_kijun.html → 耐久性を確保するための具体的な方法について解説。</p>

広島県産材による魅力的な「木の建築」実現のための手引き

一般社団法人広島県木材組合連合会

広島市南区宇品西4-1-45

TEL082-253-1433 FAX082-255-6175

監修 ひろしま木造建築協議会

事務局・問合せ先 広島県農林水産局林業課

広島市中区基町10-52

TEL082-513-3688 FAX082-223-3583